

近世①「世界の中近世」

一体化へ向かう世界 C

🕒 7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

中世のヨーロッパでは、あカトリック教会が大きな力を持っていた。しかし、いイスラム教勢力から聖地エルサレムを取り戻そうとする遠征軍の失敗からローマ教皇の力が弱まり、各国の王や市民が力を持つようになった。

う宗教改革が始まると、カトリック教会は立て直しのために、海外にキリスト教を広めようとした。え15世紀から16世紀にかけて、スペインやポルトガルなどは、新しい航路を求めて探検家を送った。

- (1) 右の図は、下線あを中心であるサン・ピエトロ大聖堂を表している。この教会が位置する、世界最小の国の名を答えなさい。


 [1]

- (2) 下線いに関して、イスラム教が開かれた地域として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア ヨーロッパ イ 西アジア ウ 東アジア エ 南アメリカ

 [2]

- (3) 下線うについて述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア イタリアでザビエルが始めた。 イ イタリアでルターが始めた。
ウ ドイツでザビエルが始めた。 エ ドイツでルターが始めた。

 [3]

- (4) 下線えについて、次の問いに答えなさい。

- ① コロンブスについて述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 『世界の記述（東方見聞録）』を著し、その中で日本のことをヨーロッパの人々に紹介した。
イ 船隊が世界一周に成功し、南アメリカ大陸南端には、この人物の名がついた海峡がある。
ウ アメリカ大陸の存在がヨーロッパに知られるきっかけをつくった。
エ 地球が球体であるという説を発表した。

 [4]

次ページにつづく▶▶▶

- ② スペインやポルトガルが、積極的にアジアへ航海した目的の1つとして、キリスト教を広めることがあげられる。その他の大きな目的として最も適当な目的を簡単に答えなさい。

[5]

2. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

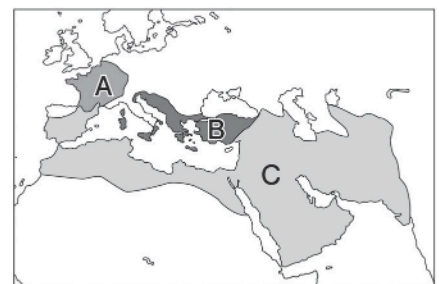
古代ギリシャ・ローマ文明がほろびたあと、ヨーロッパではキリスト教が大きな力を持った。7世紀には、ムハンマドがあイスラム教を開き、その勢力はいイスラム帝国となって広がった。カトリック教会は、聖地エルサレムをイスラム教勢力から取り戻そうとして、たびたび（う）を送った。（う）は失敗に終わったものの、交通や商業の発達をもたらした。また、教会の力がおとろえ、キリスト教の教えにしばられずに古代ギリシャ・ローマ文明を手本とする学問や美術がさかんになった。

(1) 下線あについて述べた文として不適當なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア キリスト教・仏教とならんで世界三大宗教の1つとされる。
- イ 神官を最高身分とする身分制度が、のちにカースト制度に発展した。
- ウ イスラム教徒は、メッカのカーバ神殿へ一生に一度は巡礼することが求められている。
- エ 唯一神アラーを信仰する宗教である。

[6]

(2) 下線いについて、右の略地図は7世紀ごろのようすを表している。地図中のA～Cにあてはまる国を次から1つずつ選び、記号で答えなさい。



- ア ビザンツ帝国 イ イスラム帝国
- ウ フランク王国

A	[7]	B	[8]	C	[9]
---	-----	---	-----	---	-----

(3) （う）に共通してあてはまる語句を漢字3字で答えなさい。

[10]
